

NGO ミクロネシア振興協会ニュース

Non-Governmental Organization
Association For Micronesia Development News

発行者 NGO AMD

発行責任者 上村 茂



第3回理事会風景

掲載の写真の
転載はお断りします



会長 上村 茂

当協会は、1998年2月ハワイ大学の関係者からミクロネシア連邦の経済的自立の支援要請を受けて、その趣旨に賛同する有志のメンバーによって、ミクロネシア連邦を訪問し、政府関係者をはじめ各界各層の皆さんと率直な話し合いを行い、歴史的文化的に日本との関わりが深い事、約30年間の日本統治時代からの日本人の教育、物の考え方、生活様式に共通点があること、昔トラック島と言われた時代、日本の軍事基地、太平洋の要衝として重要な役割を果たしたところであり、その戦跡が今なお残されています。

ミクロネシア連邦の人々がアメリカから独立し、独立国家として経済的に自立したいと言う気持ちに触発されたのが始まりでした。その後、諸活動を展開する中で、社会経済生産性本部、APO、外務省等の後援団体の支援を受けて、現地との交流活動を積極的に進めてきました。そして、昨年2002年8月NPO法人ミクロネシア振興協会を設立し、現在に至っています。ミクロネシア連邦は、四つの州からなる海洋国家で、ポンペイ、チューク、ヤップ、コスラエであり、恵まれた自然と海は素晴らしいものがあります。世界中からダイバーが集まってくる海、その海底は、まさに楽園です。ポンペイには数多くの謎と伝説を残すナン・マドールの遺跡(世界遺産と言ってもいいでしょう)があつて、その神秘的な魅力は人々を引き付けて離しません。魅惑と悠久の海洋国家を訪れてみませんか。ミクロネシアに関心を持ち、理解頂ける仲間を心から歓迎します。



トラック島の夜明け(撮影AMD)

＜会長 上村茂紹介：日本国の労働運動に貢献、千葉県生産性本部設立に尽力、質実剛健！品行方正＞



秋永さんは、日系の方です。ポナペ州ポナペ島に在住されホテル等経営をされています。ホテル名は、PCR Hotel,私達にとって心強い味方です。ミクロネシア国内での当AMDの支部代表を担って頂く方です。

顧問: 秋永好二さん(向かって左)

秋永さんの隣:川嶋正和事務局長



顧問 ジョシュア・スカ さん(Mr.Joshua Suka)

Mr.Joshua Sukaは、チュークの代表的な人物で、日本語を話され日本をよく知る方です。私達の大事な顧問であり、ミクロネシア地域の伝説に通じています。又惣菓の作り方を知っている？ 私達の訪問理由のひとつは、それです！



昨年6月末ミクロネシア国を台風が襲い、チューク州ポナペ州に甚大な被害が出ました。特にチューク州の被害が大きく、その中でも夏島の被害が大きく、継続的な支援を必要としています。この国は青空・紺碧の海・絵に描いた様な島々、地球規模の素晴らしい自然を持つ国です。当AMDは2002年8月にNGO活動を開始しましたが、従来からの活動を引き続き行って参ります。特に災害支援は、中期長期的な支援に力を注いでいきます。



私達NGO AMD活動へのご理解と災害支援カンパをお願い致します

災害支援に向けたカンパの口座

ばるるプラザ千葉内郵便局、口座名:災害支援カンパNGO AMD、口座番号:00100-5-295861

当AMDの全般的な活動への支援カンパ口座

ばるるプラザ千葉内郵便局、口座名:NGO AMD活動支援カンパ、口座番号:00170-7-277381



ボートに乗り被災地調査

【災害支援カンパ】と【NGO活動への支援カンパ】の用途

【災害支援カンパ】は、緊急の「米:Rice」支援に使い、中期的な支援としての農業等産業支援に生かさせて頂きます。米支援の輸送道路の修復や農業支援の一環としての研修生の受け入れ等、継続した産業支援を行っていきます。又 【NGO活動への支援カンパ】は、通常の当AMDの活動に対してのご支援として活用させて頂きます。

(掲載写真 撮影AMD)



副知事と台風災害対策協議を終えて



人的・作物の被害は甚大



土砂に押し潰された家





副会長

テリー・ニューマン

AMDを通してミクロネシア連邦とのかかわりは私にとってすばらしい経験であり大変名誉なことです。私は随分前からこの地域の歴史に大変興味を持っていましたが、5年前まで太平洋のこの島国を訪れる機会はありませんでした。訪問してみて本当によかったと思います。人々の暖かさ、それぞれ独特の美しさを持った島々、はっとするほど美しい海や礁の色は私の想像を絶するものでした。又、日本との類似性があるのには驚きました。これは歴史によるものだけでなく、ミクロネシアの文化が似ていることも原因となっています。日本がFSMと緊密な関係を作りあげていくことは自然な成り行きに



トラック諸島 夕陽(撮影AMD)

思えます。AMDは、両国が緊密な関係を作り上げ、この関係がFSMの人々の人生を豊かにするよう努力するべきであると思います。

<テリー・ニューマン(Terry Newman)さん紹介:国籍オーストラリア、日豪貿易コンサルタント会社経営、AMDスタート時からのメンバー、キャンベラ在住・キャンベラ親善大使>



チューク珊瑚環礁内の

ジープ島にて(撮影 平田)

<平田副会長紹介:名写真家・実業家であり、格闘技愛好>



理事 櫻井幸雄

私は、カメラレンズを通して、ミクロネシア連邦の島の素晴らしさ、人々の暖かさを知る事になりました。ミクロネシアに魅了された理由は、数えたら幾つもあります、中でも5年前初めて訪問時の印象が鮮烈でした。それは、夜チューク空港に到着し、ブルーラグーンホテルに向かう途中の椰子の樹などに掛けられている裸電球の光が、漆黒の世界の中であって、ひときわ眩しかった事をいまだに鮮明に覚えていることです。見知らぬ土地に夜遅く着き、親日的とは聞いていたものの言い知れぬ不安がよぎりつつ、ホテルまでの時間がとても長く感じたこともその裸電球の残像の中にあるからですが、翌朝、暗闇の夜から一変し窓のカーテンを開いたとたん、言葉にならない映画のシーンを見る驚きがありました。エメラルドグリーンの海、空、まさに自然の宝庫です。現地の人々に触れ、人間の原点を見つめなおすきっかけと貴重な心の財産を 沢山いただきました。微力ではありますが、ミクロネシア振興協会の活動に私なりに皆様のお役に立つよう努力していきたいと思ひます。



副会長 平田美津子

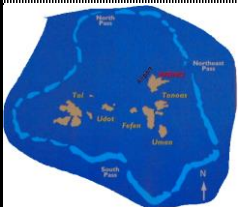
☆☆文化の担い手☆☆

伝統的な文化を担っていく若者達、彼ら・彼女達はプロではありません。学生・一般人です。=

馱洒落の達人 :川嶋事務局長から、素晴らしい珊瑚礁のトラック島に行かないかと何度も誘われていながら、やっと参加させて頂いたのは昨年6月でした。勤続30年のボーナス休暇を使つての様々な選択肢の中から、自分にとってこれが一番エポックメイキングな事をとの想いからでした。結果は期待に違わず、どこまでも美しい自然と素朴で温かな人情、そして何よりも嬉しかったのは現地の方々に残っているもう本国では失われてしまったと思える日本の故郷のような香りが感じられたことでした。この旅により、今後の私の進むべき方向が見出せたような気がしました。<櫻井さん紹介:クラシックを聞き、古い演歌を歌う文学青年?>



民族舞踊の伝え手 (撮影AMD)

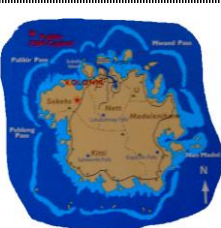


ポナペ島→

(直径24Kmの島、首都所在地 700m級の山々がある)

←トラック諸島

(全長200Kmの環礁の中)



4州の主な島々



ヤップ島→

(4つの島からなる本島を中心に環礁等で構成)



コスラエ島→

600m級の山本島以外 5島から州を構成)

新顧問の神取しのぶさん(大海理事の推挙)紹介

第3回理事会にて、神取しのぶさんが、顧問に就任されました。神取さんは、ご承知の通り、日本女子プロレス界を背負っている方です。 今後は私達と諸活動を共にされます。 歓迎します!



新顧問を囲んで



新顧問 神取しのぶさん



(撮影AMD)

代表者 上村 茂

事務所: 〒273-0031千葉県船橋市西船2丁目27番地23号

電話&Fax: JAPAN-047-432-0020

E: kmzero@df6.so-net.ne.jp 又は fsmj1999@yahoo.co.jp

当NGOミクロネシア振興協会に関するお問い合わせは

上記連絡先にお問い合わせください



AMDのメンバー

<第2回定期総会のお知らせ>

日時:平成15年4月27日(日)12時~

場所:都内・鳩山会館、文京区音羽1-7-1(有楽町線江戸川橋駅下車徒歩5分)

議題: I. 報告事項 (1)活動報告について (2)決算・監査報告他

II. 協議事項 (1)活動計画について (2)予算案 他

理事の皆さんはじめ全会員の方々の

出席を要請いたします